

シナプス

第202号

明るく 優しく たくましく



学校法人 大東中央学園

大東中央
幼稚園

大東中央幼稚園園長室だより
平成25年6月13日発行

☆園長コラム ☆キンダーカウンセラーコラム
☆担任の保育日誌から ☆身体測定結果

本能に大きな異変!?

毎朝、起床したら冷水で顔を洗い口をゆすいで、しばらくしてお母さんの愛情溢れる朝食をとり、歯を磨き、元気なうんこをしてから着替えを済ませて、幼稚園に登園する。新年度が始まってすでに2ヶ月以上を過ごした園児たちは、ごく当たり前にこの生活習慣を繰り返しています。(元気なうんこは、幼児期にはまだまだ腸の発達成長が確立していないので、難しいでしょうが、食後は必ずトイレに行くことで、おむつから卒業する訓練にもなります。)

睡眠・食事は、だれにでも備わっている“自身の健康体を維持し、より大きく・より強く逞しく育ちたい”という、人間本来の本能によるところですが、何年も前から、近隣の小学校校舎には申し合わせたように『早寝・早起き・朝ご飯』と大書した垂れ幕で、大きく啓発活動がなされているのは何故なのでしょう？ そうです、多くの子どもたちに基本的な生活習慣の乱れが顕著に現れている＝その両親の生活習慣が乱れている!＝からです。誰もが生まれながらに持っているはずの本能にまで大きな異変が現れているのです。何年も前から不安視されている“少子化”の原因＝晩婚・結婚したくない・結婚しても子どもはほらない＝(在園児家庭には無関係ですが……)もここにあるのかもしれませんが。

毎日あたりまえのように・おなじ(ような)こと＝子どもたちの発達の様子を確認しながら、適宜運動種目を変えています＝を、繰り返し繰り返し取り組むことで、子どもたちの心根に習慣づく活動、それが、本園の体育ローテ

ションです。 毎日毎朝の、歩く・走る・転がる・跳ぶ・登る等の運動により、先ずは心身の目覚めを図り、体位体力の向上を促すとともに、エネルギーを消費し食欲の増進につながります。適度な疲労感が快適な睡眠に導きます。体育ローテーションは、上述の“本能を強化する”活動でもあります。

毎日毎朝の運動には、体位体力・瞬発力・持続力・我慢耐力の向上に加えて、タイミングの取り方・リズム感の大切さも体得出来るという重要性もあり、園児たちの成長に欠かせない活動です。更には、本園の体育ローテーションは、先生方も含めて、みんなで一緒に取り組むことに大きな意義があります。並んだ順に取り組むことは、規範意識を高めます。前の友だちの取り組みを観て「ああすればいいんだ!」と自身に工夫しようという意識が生まれます。同時に互いに認めあう心も育まれ、仲間意識の高揚がはかられます。同じクラスの友だちだけでなく、違うクラスの子たちとも仲間意識が高揚し、友だち愛・幼稚園愛ひいては郷土愛にもつながっていきます。要所要所で補助する先生方に補助してもらおうと同時に、適度なアドバイスの言葉掛けをしてもらって、園児と先生方との信頼関係が育まれます。子どもが、身近な大人を信頼する感覚は、将来の学校生活・社会生活になくしてはならない感覚です。

日々の体育ローテーションに於ける園児たちの表情は、実に晴れやかで快活そのものです。快感の中で活発に取り組む園児たちの脳は、日に日に活性化されています。 辻本 博人